

施設名		京都府立丹波自然運動公園							
施設概要	所在地	船井郡京丹波町曾根崩下代110-7			設置年度		昭和44年度		
	設置目的	京都府開庁100年事業の一環として、京都府中部地域の中核をなす公園施設を目的として開設。							
	施設機能	主要設備			主な利用料金(条例上限額)				
		陸上競技場、補助競技場、球技場、軟式野球場等			陸上競技場平日一般 11,730円/日等				
		体育館、テニスコート(16面)、京都トレーニングセンター			体育館平日一般 16,010円/日等				
		バターゴルフ場、プール、宿泊棟(300人)			テニスコート平日一般 2,750円/日等				
	施設構造種別	-			延床面積	-			
交通アクセス	【電車】JR園部駅からバス約20分 【車】丹波I.C.から約5分								
営業時間・営業日	営業時間 9:00~17:00 (体育館・テニスコート・補助競技場・トレーニングセンター 使用時間 9:00~21:00)			休館日	12月29日~1月3日				
指定管理者制度の導入施設の場合、その管理者	(公益財団法人)京都府立丹波自然運動公園協会(指定管理者)								
指定管理者制度の導入施設の場合、その管理者	貸付期間	平成29年4月1日~令和4年3月31日			所在地	船井郡京丹波町曾根崩下代110-7			
	選定方法	単独指定			業種	丹波自然運動公園の管理			
収支と人員配置	収支実績 (単位:千円)	指定管理(施設運営)業務	年度	H28	H29	H30	R元	R2	R3予算
			支出合計	286,947	296,046	303,461	289,211	260,165	298,610
			人件費	113,395	112,939	115,838	107,602	100,092	107,655
			物件費	173,552	183,107	187,623	181,609	160,073	190,955
			収入合計	289,551	299,579	307,719	293,383	264,190	298,610
			利用料金収入	51,555	59,586	60,309	53,049	17,561	65,002
			その他収入	627	5,555	8,104	605	4,107	564
			府支出額(一般財源)	237,369	234,438	239,306	239,729	242,522	233,044
			収支	2,604	3,533	4,258	4,172	4,025	0
			備考	・新型コロナウイルス感染症拡大により施設利用がキャンセルされたことで消耗品、光熱費、委託料等の物件費が減少。また利用料収入についても減少した。 ・修繕費増額(H28:3,128千円、H29:3,630千円、H30:8,999千円、R1:7,221千円、R2:8,968千円)					
	自主事業	支出合計	3,980	4,841	4,081	3,935	2,406	6,420	
		人件費	0	0	0	0	0	0	
		物件費	3,980	4,841	4,081	3,935	2,406	6,420	
		収入合計	3,980	4,841	4,081	3,935	2,608	7,206	
		利用料金収入	3,980	4,841	4,081	3,935	2,598	7,206	
その他収入		0	0	0	0	10	0		
収支	0	0	0	0	202	786			
備考	・スポーツ事業、自然文化事業、健康づくり事業を中心に公園設置目的を達成するため自主事業を実施。 ・令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大対策を取りながら運営したが、丹波ちびっこまつり、あっぱれたんぼ等の中止により、収入、支出とも減少した。 (※人件費については、自主事業に特化した職員の配置を行っていない為、0とした。)								
人員配置 (単位:人)	役職員数	計	正職員		嘱託職員	臨時職員	その他()		
		常勤	37	21		6	9	1	
		非常勤	0						
	計	37	21		6	9	1		
うち府派遣	1						1		
施設建設時の財源内訳 (単位:千円)	建設費 3,100,000千円								
利用状況	利用者数	H28年度	599,236 人		ピーク時	平成 3 年度 608,575 人			
		H29年度	600,589 人		主要設備利用率(令和2年度)	陸上競技場	70.2 %		
		H30年度	608,197 人			体育館	54.1 %		
		R元年度	589,194 人			テニスコート	54.7 %		
	R2年度	228,290 人		利用率算出方法	使用面/有効使用面				
利用者の特徴	地域性	京都市内からの利用が多いが京都縦貫道の全線開通により大阪、神戸からの利用も増加			年齢層	施設利用は小中高生が中心。自主事業でのクラフトゴルフ等により高齢者の使用も多い。こどもの広場等のフリーゾーンはファミリー層でにぎわう。			
	用途	陸上競技場(補助競技場含む)とテニスコートの利用が多い。またトレーニングセンターのプログラム利用も好調。			その他(時期等)	春、夏、冬休みの合宿利用とプール開催期間			
コスト負担	府負担コスト(令和2年度)	利用者1人あたりコスト(府支出額/利用者数)	1,062 円		府負担割合(府支出額/収入総額)	91.8 %			
	延床面積コスト(令和2年度)	1㎡あたりコスト(指定管理支出計/延床面積)	-						
	今後5年以内の建替え、耐震補強、大規模修繕等	必要性(有(無))	内容・見込額(単位:百万円)		-				
	建替え等の実施時期(見込)	- 年頃	内容・見込額(単位:百万円)		-				
主な代替・類似施設	近隣市町(亀岡・南丹・京丹波)の公共体育施設								